



# 二輪草だより

2022年12月号  
発行:二輪草センター



年末年始のお休み期間は12月29日～1月3日です

旭川医科大学 二輪草センター主催

## 看護職復職支援研修

参加費  
無料

**方法** オンデマンド配信の講義  
 配信開始:2023年3月1日(水)12:00  
 配信終了:2023年3月22日(水)12:00

**対象者** 道内在住で復職を考えている未就業の看護職

**受付期間** 2022年12月14日(水)～2023年2月24日(金)

### プログラム

- 医療看護の動向
- 私が守る患者の安全
- 感染予防の基礎と実践
- 看護職のメンタルヘルス
- 呼吸・循環のアセスメント
- 急変時の観察と初動
- 褥瘡予防ケア
- ポジショニング・体位変換
- インスリン療法の基礎と看護
- 嚥下機能のアセスメントと嚥下訓練
- 認知症ケア



申し込み用QRコード



URL :  
<https://forms.gle/K3t5Wsjgw5eN7Ca48>

【申込・問い合わせ先】 E-mail : [shiho18@asahikawa-med.ac.jp](mailto:shiho18@asahikawa-med.ac.jp)  
(担当:近藤・平塚)

【お問い合わせ先】 旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)  
 〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1  
 TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249  
 開設時間8時30分～17時15分 E-mail: [nirinsou@asahikawa-med.ac.jp](mailto:nirinsou@asahikawa-med.ac.jp)  
 ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

## 医療概論Ⅲ ワークライフバランス授業終了報告

二輪草センター 助教 菅野 恭子

2022年10月3日に医学科3年生を対象に「ワークライフバランスを考えよう」の講義および実習を行いました。今年度もコロナ対策のためリモートでの開催となりました。教育センターの野津教授から開催のご挨拶を頂いた後、二輪草センターについての説明とワークライフバランスの講義を行いました。その後Zoomでグループ討論をしてもらいました。グループに分かれて2つの想定ケースに関して、キャリアプラン、問題点などを議論し、討論内容はmanaba上で各グループから発表し意見交換してもらいました。ブレイクアウトルームでディスカッション後manaba上で発表してもらいました。この課題を通して様々な問題に対してどの様に対処していくか、そして自分とパートナーのキャリアをどう考えていくのか、育児・親の介護など家族の状況が人生設計に影響することも学んでもらいました。

「先輩医師のワークライフ体験談」では2人の先生にお話し頂きました。消化器内科学講座の河端秀賢先生から、子育てをしながらどの様に仕事と子育てを両立しているかお話し頂きました。ポストアンケートでは大学院のキャリアについて参考になった、夫婦間の協力が重要であることを改めて感じたという意見や、仕事に情熱を注ぎながらも夫婦ともにキャリアを成功されてる点を見習いたいという意見がありました。お二人目は北海道大学病院男女共同参画推進室の清水薫子先生にワークライフバランスについて、性別にとらわれないダイバーシティなキャリア形成についてわかりやすくお話しいただきました。北大で行ったアンケート結果で男女間の意識の差が思ったよりもあったという意見がありました。お二人に共通されていたのは性別に関係なく子育てしながらご自身のキャリアを形成されている点で、この体験談が学生さんたちの励みになったようです。



最後に二輪草センター長の山本先生から、アンコンシャスバイアスについて教えてもらいました。この講義をきっかけに自身のキャリアプランを考え、ワークライフバランスを充実させることができる学生が増えることを期待します。今回もリモート授業について教育センターの井上先生に多大なご支援を頂きました。またタスクフォースとして石羽澤先生(小児科)、神田先生(麻酔科)、西川先生(眼科)、蒔田先生(遺伝子診療)、安田先生(精神科)、横浜先生(産婦人科)(五十音順、敬称略)にお忙しいところご協力いただきましたことを深謝致します。

### 病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【11月20日～12月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	8回	稼働回数	7回
病児・病後児保育室	依頼回数	10回	利用回数	6回
カウンセリング相談			利用回数	2回

\* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます